

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部
1-①	子どもの学びを充実する	学校教育部、社会教育部

所管事業に関連する成果指標の達成状況									
指標名	単位	計画策定時	実績値				31年度目標値	進捗状況	
			27年度	28年度	29年度	30年度			
授業（国語、算数・数学）の内容がよく分かると回答した児童生徒の割合	小学校	%	77.2	77.2	77.3	76.4	79.0※	78.5	A※
	中学校	%	69.0	69.0	67.1	70.9	71.9※	70.5	A※
自分にはよいところがあると回答した児童生徒の割合	小学校	%	73.9	73.9	72.2	74.0	78.9	74.5	A
	中学校	%	67.5	67.5	65.1	69.1	75.3	68.5	A

※ 平成30年度は、国語に関する質問がなかったため、「授業（算数・数学）の内容がよくわかると回答した児童生徒の割合」を実績値とし、進捗状況は参考としています。

関連事業				
○生きる力を育む学校づくり推進事業○地域に根ざした教育推進事業○外国人英語指導者の学校訪問事業○英語教育推進事業○幼・保・小・中連携の推進事業○道徳教育推進事業○日本語指導協力者派遣事業○子ども読書活動推進事業				
決算額				
	28年度	29年度	30年度	31年度
事業費（千円）	75,033	74,678	83,047	
執行率（%）	99.34	98.65	99.14	

施策の推進に向けた主な取組の「成果」
<ul style="list-style-type: none"> 学校や地域の特性を生かした教育課程の編成や授業づくり推進員による公開授業等の実施による教員の授業力向上に取り組みました。また、情報教育を学ぶ環境の整備、就学前と就学後の連携・交流の促進、外国人英語指導者や日本語指導協力者を学校（園）に派遣することで、子どもの学びの充実を図りました。 市民と行政の協働による「子ども読書活動推進フォーラム」の開催などにより、読書の大切さを広く啓発しました。

施策を推進する上での「課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

- ・さらなる教員の授業力向上や情報教育の充実、児童・生徒が英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする意欲を一層高めるような授業の展開、就学前後の連携の支援、一人一人のニーズに応じた日本語指導等を行うことが必要です。
- ⇒研修の充実やタブレット型端末を中心とした機器の整備、英語授業を実際のコミュニケーションの場面とする指導を行うとともに、ニーズに応じた日本語指導協力者の派遣を行います。また、就学前後の連携のため、スタートカリキュラム作成を促進します。
- ・各地域の図書ボランティア活動を充実させることが必要です。
- ⇒図書ボランティアに対して、図書に関する情報提供や講習会の実施など、サポートに努めます。